

2019年度図書館システム整備（モデル B）班活動報告

1. 活動概要

ローカルの図書館システムと中央システムが異なるシステムを利用している、という条件下で、中央システムに整備されたタイトルリスト及びライセンス情報について、JUSTICE 会員館において活用し、電子リソース管理の効率化やローカルシステム（OPAC, リンクリゾルバ, ディスカバリーサービス等）を通じたサービス拡充につなげられるかの実証実験を開始した。

2. 実証実験協力機関について

(1) 応募状況

2019年12月に、「JUSTICE 提案書情報のデータ共有に関する実証実験」の協力機関の募集を行い、以下の7機関を協力機関とした。

- ・ 千葉大学
- ・ 東京大学
- ・ 大阪大学
- ・ 鹿児島大学
- ・ はこだて未来大学
- ・ 明治大学
- ・ 安田女子大学

(2) 協力機関への業務ヒアリングの実施（2020年1月8日（水）～10日（金））

実証実験の範囲及び利用するパッケージ情報等について確認を行った。

(3) 協力機関との合同会議（2020年1月下旬～2月上旬予定）

実証実験の具体的な進め方について意識合わせを行うとともに、現状と課題を共有することを目的とする。

3. 2020年度以降の活動

2019年度の協力機関に対して、引き続き実証実験に参加いただき、上記合同会議で確認した具体的な進め方を基に、実証実験を行う。

以上